

今金町
まち・ひと・しごと創生

人口ビジョン 及び総合戦略

ダイジェスト版

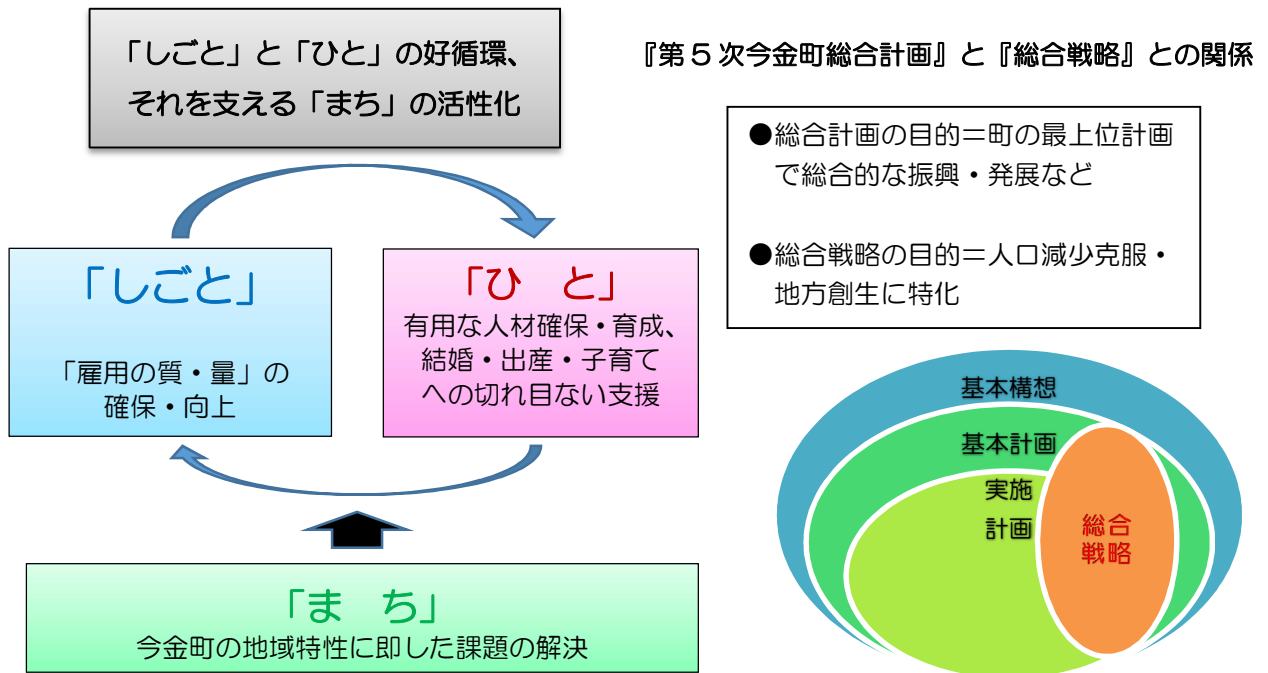
【平成27年度～31年度】

北海道今金町

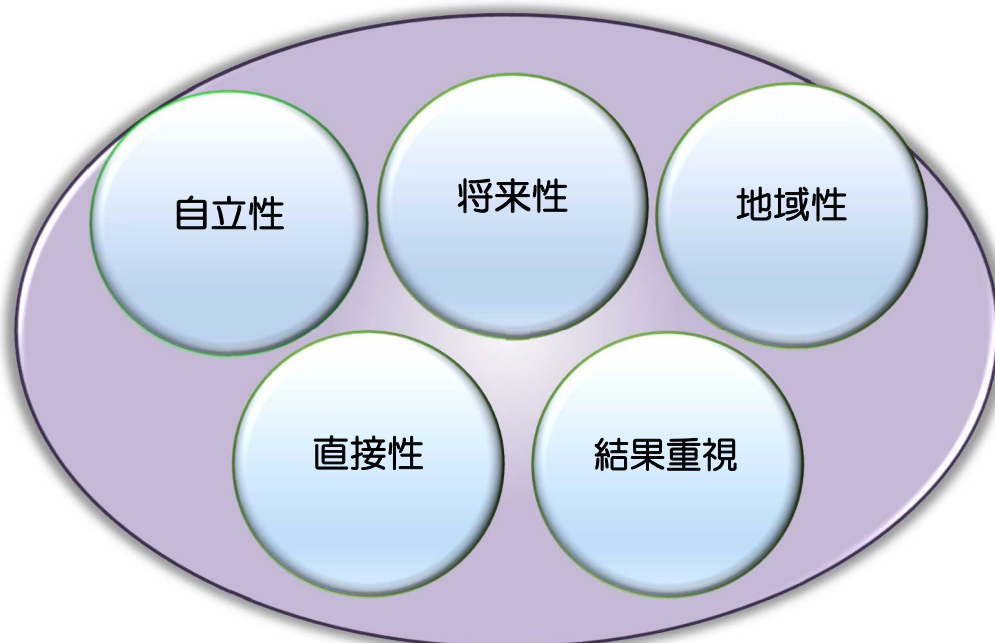
1. 総合戦略の目的・背景

今金町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、「総合戦略」という。）は、平成26年12月27日付け閣副第979号内閣審議官通知により、本町における人口の現状と将来の展望を提示する人口ビジョンを策定し、これを踏まえて、今後5カ年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたものです。

総合戦略策定の目的は、国が策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方や政策5原則等を基に、本町における、人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を今金町から目指すこととします。



2. 総合戦略政策5原則



3 計画の体系と期間

国の示す政策4分野ごとに5年後の基本目標を設定します。その際、基本目標は、実現すべき成果に係る数値目標とします。

また、政策分野ごとに講ずべき施策の基本方向と具体的な施策を記載し、各施策の効果を客観的に検証できる指標（重要業績評価指標（KPI）Key Performance Indicators）を設定します。（計画期間：平成27年度から平成31年度までの5年間）

4. 計画のフォローアップ

北海道の総合戦略等との整合を図りながら、広域的な連携を進めるとともに、「地域経済分析システム」による、詳細な経済分析を加味するなど、随時、必要な見直しを行っていきます。

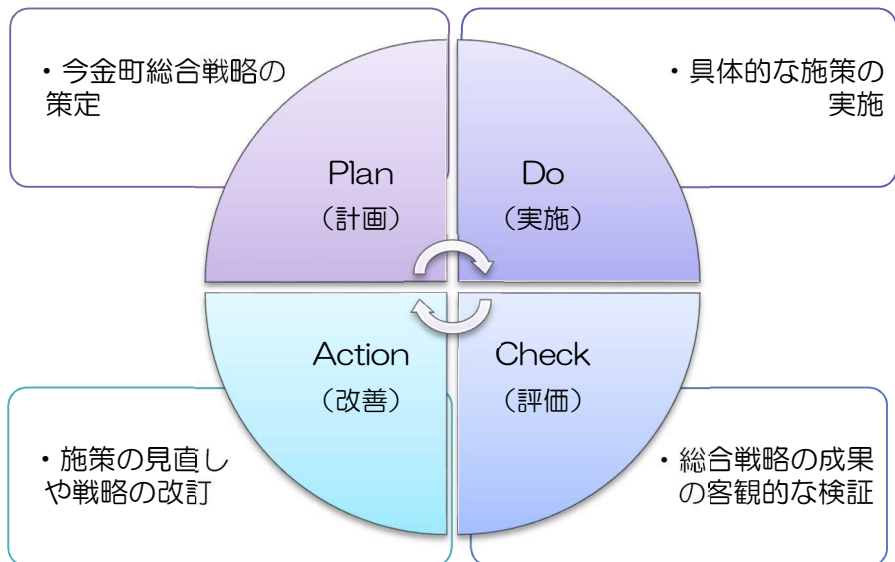
また、取り組み推進に当たっては、地方創生先行型交付金等の国の財政的支援制度や「地方創生コンシェルジュ」制度などの人的支援制度を含め、国の支援制度を積極的に活用することとします。

5. 効果の検証と改善について

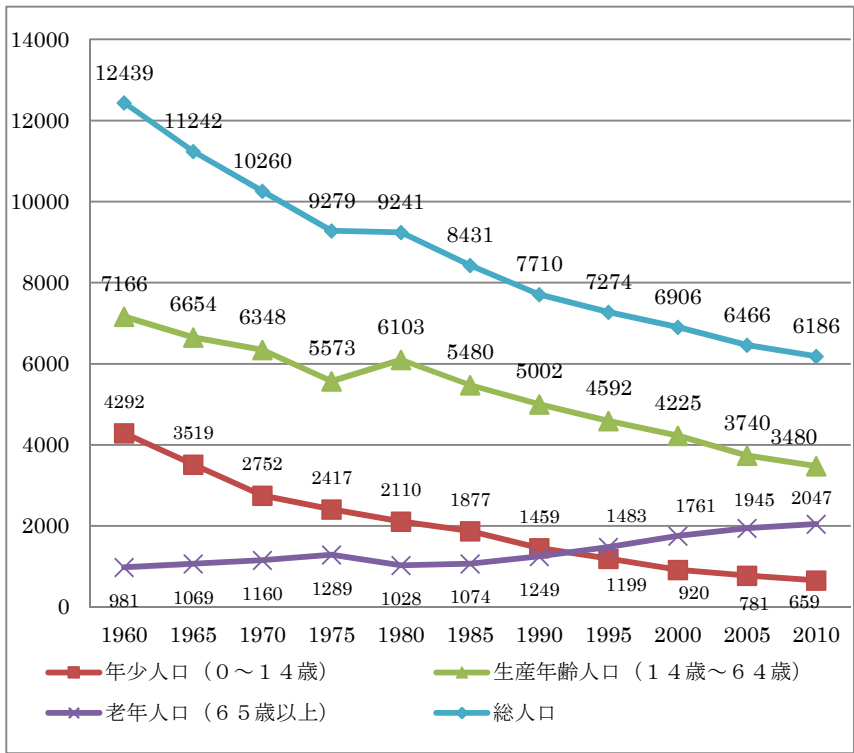
本計画の施策・事業の効果の検証は、PDCAサイクルによる効果的な見直し、改善を実施していきます。

検証については、外部有識者等を含む検証機関を設置し、基本目標の数値目標及び具体的な施策に係るKPIの達成度を検証していきます。

また、議会において総合戦略の効果検証についての報告をしていきます。



今金町の人口動向～年齢3区分人口推移



◆本町の総人口は一貫して減少傾向にあり、2010年の総人口は、1960年と比べ**6,253人(50.3%)**減少しています。

◆1985年から**生産年齢人口**は減少に転じた。1990年後半に**老年人口**が**年少人口**を上回り、その後も増加を続けています。

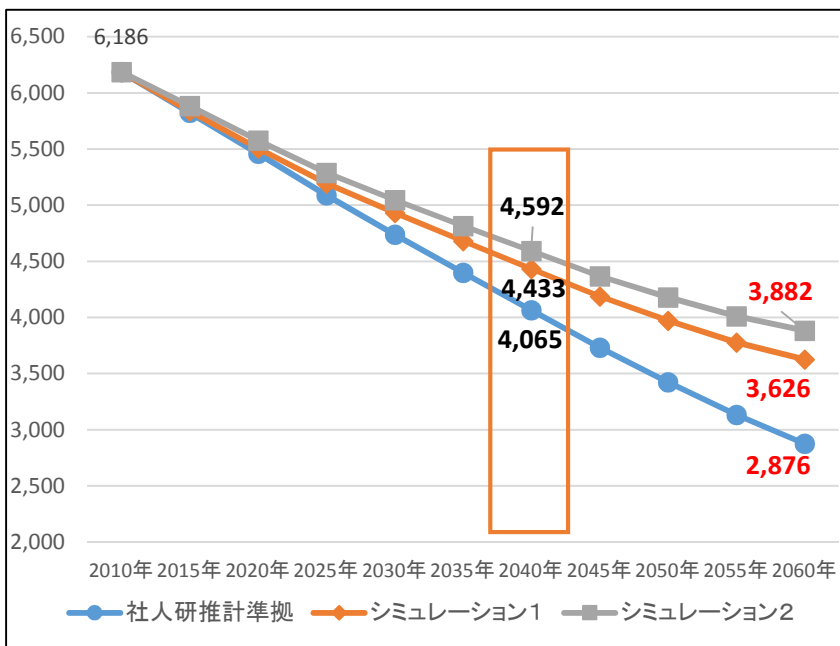
◆2013年の**自然増減**は**-48人**、**社会増減**は**-25人**となっている。

※自然増減 出生数－死亡数
 ※社会増減 転入数－転出数

人口の将来展望

・国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、今後、何も対策を講じない場合には**2040年の人口は4,065人**となる。今後、自然減、社会減の両面への様々な施策展開をすることにより、**合計特殊出生率が向上し、転出超過が抑制された場合2040年時点で4,592人**、**2060年には、3,882人の人口が維持される見通し**。

2012年 今金町合計特殊出生率 1.39



シミュレーション1

パターン1において、合計特殊出生率が人口置換水準（人口を長期的に一定に保てる水準）である**2.1**まで上昇したと仮定した場合

シミュレーション2

パターン1において、合計特殊出生率が人口置換水準（人口を長期的に一定に保てる水準）である**2.1**まで上昇し、かつ人口移動が均衡した（転入・転出数が同数となり、移動がゼロ）と仮定した場合

基本戦略

本町における人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目指すこととするため4つの基本目標をもとに施策展開を進めていくこととします。

【戦略の基本コンセプト】

本町の魅力を活かし、安心して働き、子育てができ、住み続けられるまちの実現のため、『福祉と地域産業』を調和させる仕組構築など人口減少対策に直結するアイデアを絞り込んで重点施策を進めていく。

基本目標1 今金町における安定した雇用を創出する

- ◆ 障がい者が地域産業の担い手としての活躍の場づくり
- ◆ 地域の特性を活かした産業連携によるモノづくり産業の振興
- ◆ 空家・空店舗等を活用した起業支援や情報発信
- ◆ 農林業における新規就農者の促進 ◆ 担い手の育成対策の強化
- ◆ 求人情報の提供と発信 ◆ 産業後継者の育成奨励
- ◆ 足腰の強い地域産業構造の構築 ◆ 多様な人材の活躍の推進



基本目標2 今金町へ新しいひとの流れをつくる

- ◆ 町の拠点施設の整備によるまちの顔づくり
- ◆ 観光資源の発掘と地域特産品の活性化
- ◆ 地域の再生を加速させる ◆ 定住移住対策に係る条件整備
- ◆ スポーツによる交流推進 ◆ 地域おこし協力隊への支援対策の推進
- ◆ 大学など連携活動の展開 ◆ 中心街のにぎわい創出支援



基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ◆ 積極的な結婚支援や社会気運の醸成
- ◆ 町の特色を活かした子育て支援の推進
- ◆ 教育環境の整備による教育力の向上
- ◆ 子育て支援による働きやすい環境をつくりだす



基本目標4 地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する

- ◆ 独自の自然・歴史資源の発信による地域の魅力向上
- ◆ 若者まちづくり活動支援
- ◆ 現在の生活基盤の維持のための支援の実施
- ◆ 広域連携による経済の活性化
- ◆ 地域ぐるみによる防災体制の充実
- ◆ 地域コミュニティの活性化
- ◆ まちのインフラの長寿命化・公共施設の維持管理の最適化
- ◆ 緊急時の医療の確保と地域医療等の充実



基本目標 1. 今金町における安定した雇用を創出する

(1) 基本とする目標

町内産業総売上高（経済センサス活動調査）220億（H31）の現状維持とする
H24総売上高 220億

(2) 講ずべき施策に関する基本的方向

人口減少対策においては、地域の活力と持続可能性の基礎となる産業と雇用の創出は必要不可欠なものです。

本町の基幹産業である農業における「今金型地域複合経営」の促進、福祉分野での雇用の創出を図るとともに、民間での受け皿づくりにより女性、高齢者、障がい者の就業機会の拡大を目指します。

(3) 具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指数

具体的な施策	主な取り組み
<p>◆ 障がい者が地域産業の担い手としての活躍の場づくり</p> <p>町内にある道立高等養護学校の卒業生に対する就職相談や雇用主に対する相談・支援を進め、学校生活から社会生活へのスムーズな移行を図り、雇用と定住促進を進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今金高等養護学校卒業生雇用の促進 ・各機関と連携した産業支援体制の強化 ・新ビジネス創出となる交流機会の提供
<p>◆ 地域の特徴を生かした産業連携によるモノづくり産業の振興</p> <p>新型農業（水耕栽培等）の調査研究等新たな産業の調査研究を進めるとともに、6次化(特産品を活用した)商品の開発の調査研究の支援に取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型農業（水耕栽培等）参入への支援 ・特産品を活用した商品開発の支援
<p>◆ 農林業における新規就農者の促進</p> <p>多様な担い手の確保や育成を図りながら、新規就農者のための離農者の土地等の情報提供や、受け入れを促進するとともに農業研修生や労働者の受け入れ態勢の強化に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者への総合支援 ・土地等の情報提供 ・農業基盤・林業基盤の整備
<p>◆ 担い手の育成対策の強化</p> <p>経営の担い手育成・新規参入者の発掘など地域産業の課題解決に努めます。また、農業経営の収益と効率化の改善を支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手確保対策・育成支援 ・経営安定化事業への支援
<p>農地、農業用施設等の保全・管理のための共同活動の取組や、中山間地域等における農業生産活動を継続するための取組など、農業の有する多面的機能の向上を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の多面的機能保持 ・土地改良施設の計画的補修・整備
<p>◆ 求人情報の提供と情報発信の実施</p> <p>求人情報を収集することに加え、地方定住のメリット等を発信するため、町ホームページや回覧による広報活動を積極的に行い、町内事業所の長期的な人材確保及び人材育成を効果的・効率的に支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・U・Iターン者の就労支援 ・就職情報発信等による若者雇用の推進

具体的な施策	主な取り組み
<p>◆ 産業後継者の育成奨励</p> <p>町内の農林商工業者の子弟が新たに町内で後継者として従事した場合に育成奨励を実施し、若者の雇用、定住促進につなげます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 後継者育成に係る奨励支援
<p>◆ 足腰の強い地域産業構造の構築</p> <p>企業規模や創業段階に応じた段階的な助成など企業ニーズに応じたインセンティブの充実を図ります。また、地域の安全性をアピールした企業及び個人起業者の誘致に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 企業立地に向けた支援 設備投資、事業拡大、新分野進出 新産業創出を支援
<p>◆ 空き家・空き店舗等を活用した起業支援や情報発信</p> <p>将来の本町の産業を担う起業者を対象とし、空き家・空き店舗の貸出しの支援、小規模テナント等による事業開業の支援を行います。また、空き家・空き店舗等の情報を町HP等で積極的に発信します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 空き家・空き店舗活用事業の支援 空き家・空き店舗の情報発信
<p>◆ 多様な人材の活躍の推進</p> <p>幅広い課題に対応する相談機能の仕組みづくりや様々な分野で支援・協働する人材のネットワーク構築の推進に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ふれあいファミリーサポートの推進

基本目標2. 今金町へ新しいひとの流れをつくる

(1) 基本とする目標

2020年までに本町からの転出超過数を2014年の約半分の15人とする
2014年～転入数 192人、転出数 228人

(2) 講すべき施策に関する基本的方向

本町には美しい山林、一級河川後志利別川の豊かな水、肥沃な農地といったまちの財産があります。観光だけではなく、様々な農林業体験イベントの開催や交流も含めた誘客を図ることで、経済効果の創出と地域の活性化を目指すとともに、優れた自然環境と共生する持続可能なまちとして、定住の地として選ばれるよう移住・定住の促進策などを推進していきます。

(3) 具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指数

具体的な施策	主な取り組み
<p>◆ 町の拠点施設の整備による町の顔づくり</p> <p>地域独自の個性を生かした町の物産販売等の拠点施設の整備に努め、適地に事業推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 公共的トイレの整備の推進 物産販売拠点の整備の推進
<p>◆ 観光資源の発掘と地域特産品の活性化</p> <p>地域資源の価値を再発見し、磨き上げ、発信することによって、地域の活力を生み出し、町民の地域に対する誇りを醸成するとともに、町内外へ本町の魅力を浸透させ、本町の認知度向上やイメージアップを図るため特産品の販売拡大など、観光の活性化を通じた交流人口の増加を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 広域的（東京都特別区等）な観光イベント、特産品のPR活動など町の魅力を発信 観光推進体制の強化による交流人口の増加対策の推進
<p>◆ 地域の再生を加速化させる</p> <p>町には多くの魅力があるにも関わらず、知名度の低さから人口流出が課題となっていることから、良質な雇用の充実、歴史的景観、自然環境の豊かさなど、魅力をPRし、知名度を高めることにより、移住促進を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 着地型観光商品の開発、販売促進 二次交通網の整備等周遊観光システムの確立

具体的な施策	主な取り組み
<p>◆ 定住・移住対策に係る条件整備の構築</p> <p>本町に移住・定住するためのきっかけづくりに取り組み、移住・定住を支援する体制を構築します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代の移住・定住の促進 賃貸住宅に係る支援 町有地の積極的有効活用の実施
<p>◆ スポーツによる交流の推進</p> <p>スポーツイベントを通じた町内経済の好循環を第一に、地域内、他地域の人々との交流を活発化し、年間を通じ賑わいや活性化が図られるまちづくりを目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> スポーツに親しめる環境整備 スポーツ分野における交流人口拡大
<p>◆ 地域おこし協力隊への支援対策の推進</p> <p>地域おこし協力隊の積極的な活用及び任期後に本町に定住できるよう就業の支援を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人々・企業との交流などフォローアップ事業の展開
<p>◆ 大学など連携活動の展開</p> <p>北翔大学や札幌国際大学等の連携事業活動の充実をはじめ、福祉や農業関連の研修生等の受け入れを進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各大学との連携事業の発展的展開 連携大学の研究フィールド活動の誘致 研修生等の受け入れ促進
<p>◆ 中心市街地のにぎわい創出支援</p> <p>新たな出会いや活躍の場、魅力や価値を感じることができる場として、中心市街地の機能向上を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 商店街の振興と安定改善に係る支援 街路灯LED化に係る支援

基本目標3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

(1) 基本とする目標

合計特殊出生率：全国平均との乖離を縮小し、全国水準まで引き上げる
H25 全国 1.43、今金町 1.39

(2) 講ずべき施策に関する基本的方向

本町は国保病院、介護老人保健施設、認定こども園いまかね等、医療・福祉・教育サービス機能が保たれています。今後は、救急医療・かかりつけ医療の確保、乳幼児などへの福祉サービスの提供体制の確保、幼児・初等・中等教育の確保を図り、子どもたちが健やかに成長できる地域を目指します。また、子育てをする家庭が仕事との両立を図ることができるよう、子育ての本来の役割は家庭にあることを基本としながらも、地域が子どもを見守り、出産や育児にかかる家庭の負担を軽減し、若い世代が結婚から出産、子育てに希望を持てる地域の実現を目指します。

また、子どもの時から「働くこと」や「ふるさと」に興味、関心を持つことや、地域の一員としての自覚を促す教育を推進するとともに、今金町を支える産業や福祉、地域づくりの核となるリーダーの系統的な育成に努めます。

(3) 具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指数

具体的な施策	主な取り組み
<p>◆ 積極的な結婚支援や社会気運の醸成</p> <p>若い世代の結婚の願いをかなえるための出会いの場の提供及びそのための社会気運を醸成します。また、産業後継者の花嫁不足解消を図るため、婚活交流事業の取組に対する助成など結婚支援を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 結婚希望者への相談支援 婚活交流事業の取組への助成

具体的な施策	主な取り組み
<p>◆ 町の特性を活かした子育て支援の推進</p> <p>子育て相談の窓口を充実させ、子育て中の親の交流を活発化させるとともに地域等で子育てを支援する人への研修会を開催します。また、妊婦健診の助成と医療費・保育料等の支援及び不妊治療への負担軽減についての検証を行い、制度の充実を図ります。</p> <p>幼児教育・保育の充実を図るため、心身発達の心配や遅れのある乳幼児に対して、集団保育・個別保育を実施し、心身の機能の伸長と健全な社会性の成長発達を促進します。</p> <p>本町に住所を有する者が出産した時に記念品を贈呈し、出産奨励による人口の増加を図り、子どもの健全育成を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦健康診査等の内容の拡充 ・乳幼児健診及び健康相談の強化 ・母子保健対策の充実、食育の推進 ・乳幼児医療費助成の拡充 ・集団保育・個別保育の実施 ・心身の機能の伸長と健全な社会性の成長発達を支援 ・障がい児保育、特別支援教育の充実 ・出産時記念品贈呈の推進
<p>◆ 教育環境の整備による教育力の向上</p> <p>小規模特認校制度による特徴ある教育活動を推進します。また、小学校と中学校が緊密に連携・協働して進め、教育指導体制、家庭・地域の教育力向上など教育環境の充実に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援体制の確立 ・学校安全対策の推進 ・芸術・文化講演会など学ぶ機会の充実 ・国際講師を配置し英語力向上の推進
<p>◆ 子育て支援による働きやすい環境をつくりだす</p> <p>男女がともに助け合い、互いの能力や個性を認め合うことで、仕事・生活の分野でいきいきと活動できる社会を目指します。</p> <p>安心して子どもを生み育てることができるよう、働く、住む、暮らし続けられる環境を整備するとともに、ITを活用したSOHO（スモールオフィス・ホームオフィス）づくりの支援対策に取り組めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブの充実 ・男女共同参画の推進 ・延長保育等サポート体制の整備 ・子育て支援センター相談機能の充実 ・子育て世帯の住宅に係る支援 ・ITを活用したSOHOづくりの支援

基本目標4. 地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する

(1) 基本とする目標

本町の住民基本台帳人口 2020年(H31)に、5,576人とする 2015年(H27) 5,824人

(2) 講ずべき施策に関する基本的方向

本町は、交通事故、犯罪の発生や自然災害も少なく安全な環境のもと安心して住まえる地域です。また、協力意識と行動力のある人が数多く活躍して、まちづくりが保たれているまちです。今後は、救急時医療、福祉サービスの提供体制の確保、日常的な買い物機能の確保、生きがいづくりへの取組を推進することで、そこに住み続けたいと思える生活・定住の環境づくりを進めていきます。

(3) 具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指数

具体的な施策	主な取り組み
<p>◆ 独自の自然・歴史資源の発信による地域の魅力向上</p> <p>カブトムシやクワガタなど、自然などを利用した町の魅力の向上を図り、総合公園やピリカダム周辺の地域資源を活用したPRを行います。</p> <p>また、新幹線の開業に向けた魅力の発信と受け入れ態勢の整備を進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境などを利用した事業展開 ・地域資源を活用したPR推進 ・新幹線開業の魅力発信と態勢整備
<p>◆ 若者まちづくり活動支援</p> <p>地域の魅力を高め本町の若者定住を促進することを目的として、若者を対象とした賑わいづくりを目指す事業展開に支援を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣町との交流活動に対する支援 ・まちおこしや人材育成を目的としたイベント事業に対する支援
<p>◆ 現在の生活基盤の維持のための支援の実施</p> <p>高齢者の外出を支援し、社会的、文化的活動などの社会参加の促進を図るとともに、健康の保持及び生活の向上を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の外出支援 ・社会参加を促す支援対策の推進 ・健康の保持及び生活の向上
<p>新たな地域公共交通としてデマンド（予約制）バスを導入し、交通不便地域の解消を図り、日常生活に必要な地域住民の移動手段を確保し、外出支援、利便性の向上を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンドバスの導入の推進
<p>障がい者の外出を支援し、社会的、文化的活動などの社会参加の促進を図るとともに、健康の保持及び生活の向上を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の外出支援 ・健康の保持及び生活の向上
<p>◆ 広域連携による経済の活性化</p> <p>共通の課題をもつ自治体間での連携協力により、広域ネットワークを形成し、人と経済・文化の交流による相互の発展、産業・地域活性化など、活力あふれる町を目指します。また、観光PR事業についても連携を強化し積極的に実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・北渡島・檜山北部4町連携事業の推進 ・檜山振興局及び管内町との連携強化 ・東京都特別区との連携事業の推進 ・北海道定住自立圏域の事業推進
<p>◆ 地域ぐるみによる防災体制の充実</p> <p>町民が地域の中で安心して暮らすことができるよう、自治会・町内会活動の活発化を促し、災害に強いまちづくりを推進するとともに、防災意識の高揚を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団活動の推進、団員の確保 ・消防施設の整備・救急体制の充実 ・自主防災組織への支援 ・防災備蓄品の整備
<p>◆ 地域コミュニティの活性化</p> <p>地域の課題解決に向けた活動に対し支援し、地域活動への参加を促進します。また、幅広い町民の声を収集し、多様な声を活かした地域活動を支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会・町内会への活動支援 ・拠点集会施設の改修等の推進
<p>◆ まちのインフラの長寿命化・公共施設の維持管理の最適化</p> <p>道路・橋りょうなど町のインフラの老朽化に伴い、低コストで安全性を確保できるよう、長期的視点に立った計画的・体系的な点検及び補修を実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道路・橋りょうの老朽化対策の推進 ・冬期の交通網の機能確保
<p>◆ 緊急時の医療の確保と地域医療等の充実</p> <p>救急・災害時の緊急時の広域的な医療体制を整えるとともに、地域に密着した包括的な保健医療充実に向けた取り組みを進めます。また、国民健康保険等の保険事業の適正かつ安定のため関係機関と連携を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他医療機関との密接な連携強化 ・健康増進による医療費の適正化 ・医療相談・地域連携職員の配置

いまかね

